



し えん

ケアラー応援サイト「思縁」

～大切な人をお世話しているあなたも、大切な一人です～

ケアラーとは

ケアラーとは、家族の介護や日常生活上のお世話などを無償でしている方のことです。

また、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを **ヤングケアラー** といいます。

「思縁」とは

いつでも、だれでも、ケアラーが知りたい情報にたどりつけるサイトです。

多種多様な困りごとをもつケアラーのみなさんが自分の人生を自分らしく生きられるよう、最適な情報と支援を提供します。

こんな方におすすめです！

わたしって(ヤング)ケアラーかな？



ケアラー該当チェック

質問に答えることで、あなたが“ケアラー”であるかどうかをチェックできます。

最近、家族のお世話でかなり疲れている。



心の健康度チェック

質問に答えることで、ケアラー自身の心と体の健康が守られているかをチェックできます。

専門の窓口相談して支援を受けたい。



相談窓口の案内

ケアラーの困りごとをもとに、ケアラーが必要としている支援や適切な相談窓口をご案内します。

まずは「思縁」を体感しませんか。

「思縁」へのアクセスはコチラから

ケアラー応援サイト 思縁



お問い合わせ先

島原市地域包括支援センター

住所:長崎県島原市萩原一丁目1230

電話:0957-65-5110

長崎県ケアラー支援条例



みなさん、ご存じですか？

令和5年4月1日に「長崎県ケアラー支援条例」が施行され、

ケアラー支援は、家族の介護や日常生活のお世話をしているすべてのケアラーが

「“個人”として尊重されること」

「健康で文化的な生活を継続すること」

を保障するものである（第3条基本理念より）

と明記されました。私たちは、ケアラーに対する理解を深めるとともに、社会全体で支えていく仕組みを構築し、だれ一人取り残さない社会の実現をめざすことが求められています。

島原市の取り組み

島原市では行政、地元の企業や学生がタッグを組み島原城下プログラミングスクールのご指導のもと島原半島の中学生ボランティアと一緒にWEBサービス【思縁】を作成しました！



島原城下プログラミングスクールでは、企業・団体と連携したICTボランティアや声かけなどの気づかいを準備しています。あなたも是非チャレンジしてみませんか？

プロジェクトの概要はコチラから↓



みんなでケアラーを支えよう

家族だからこそできる、生きるケアがあります。

しかし、気づかないうちに背負い過ぎると、いろいろなところで影響や不安がうまれてしまう可能性があります。相談したいけど相談しづらいなど悩みを抱えている方もいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼い子どものお世話をしている



障がいや病気のある子どもや高齢者のお世話をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が話せない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために働いて、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りのお世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

お世話やケアってどんなこと？



例のほかにもケアには、さまざまな形があります。



障がいのある子どもの子育て・障がいのある人の介護をしている



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事と病気の子どもの看病でほかに何もできない



仕事のかたわら、子どもにお世話をまかせている



近くに住む高齢の親が心配で頻繁に通っている



目を離せない家族の見守りなどのケアをしている



アルコール・薬物依存やひきこもりなどの家族をケアしている



障がいや病気の家族のお世話をいつも気にかけている

(出典元)長崎県ケアラー支援推進計画

ケアラー応援サイト『**しえん**思縁』をのぞいてみませんか？

